

【模範解答】

文科省が先導する大学入試制度改革では、「主体性」「多様性」「協働性」が重要な要素として受験生に求められている。たしかに、ITの進展などで個の力が大きくなってはきているが、多様の人と協働し大きな物事を成し遂げるため、それらを統率できる主体性あるリーダーシップが渴望されているのは疑い得ないだろう。医療現場でも、チーム医療を牽引できる医師のリーダーシップが求められるだろうが、はたして、医師に求められるリーダーシップとはどういったものであろうか。

医療現場では未曾有の事態が付きものである。例えば、新型コロナウイルス対応を迫られたり、患者の容態が急変したり、救急搬送される患者が前例のない病気・ケガを抱えていたり、医療現場ではこれまで予想していなかった事態が起こるものだ。このような先行き不透明な事態に直面したとしても、看護師や理学療法士といった他の医療従事者へ対応方針を伝えるため、適切に判断し牽引するリーダーシップが肝要となる。世界的企業マッキンゼー社の社員であった高橋俊介氏によれば、「未曾有の事態であっても、原理・原則に立ち返ることが重要だ」という。先述の新型コロナウイルスであれば、「新型と言ってもウイルスであることには変わらない。ウイルスであれば人間に感染しなければ自滅するのだから、感染予防を徹底すべきだ。」というように、生物学における原理・原則に立ち返るといった具合で判断するのである。

以上より、医師に求められるリーダーシップは、未曾有の事態であっても、原理・原則に立ち返って物事が判断できる力だと私は考える。現代は激動の世を迎え、ITや医療をはじめ多くの学問分野が日々目まぐるしい進歩を遂げている。より一層、先行き不透明な世の中になっているからこそ、医療現場で指揮をとる機会の多い医師には、上記のようなリーダーシップが必要となってくるのではないだろうか。

(786字)

